

## クラブ雑誌・広報、IT委員長会議

日時 2008年7月19日(土) 13:00~17:00

場所 うお健ビル

クラブ雑誌・広報、IT委員長会議は、ガバナー他役員・幹事等38名、クラブ委員長81名 計約120名が参集し、熱気に溢れる論議がかわされた。 内容下記の通り。

### 記

#### 「1」プログラム

13:30	開会点鐘・紹介等	ガバナー	勝野 露観
		代表幹事	桃田 隆彦
	開会挨拶	ガバナー	勝野 露観
13:45	講話「雑誌・広報・ITを担う 委員長への期待」	カウンセラー& パストガバナー	平原 祥彰
14:00	雑誌・広報委員会報告	雑誌広報委員長	川村 克人
	1) 委員としての基礎知識		
	2) 広報の方法		
	3) 現在にみる広報の問題点		
	4) 今年やりたいこと		
15:00	「ロータリーの友」の活用について	「友」地区委員	山口 正真
	1) 「友」の購読		
	2) HPの活用		
15:15	IT委員会報告		
	1) 委員会体制と今年度計画総論	IT委員長	大村 充
	2) 新ホームページの開設案内	〃	〃
	3) 地区内データ管理と クラブホームHP政策要点	IT委員会アド バイザー	寺下 卓
	4) クラブ事務局IT研修会ネット化計画	地区委員	大森 豊
16:00	質疑応答		
16:20	会議所感	ガバナーエレクト	村上 有司
	〃	ガバナー補佐	選出 4名
16:45	講評及び点鐘	ガバナー	勝野 露観

#### 「2」会議内容

##### 1. 挨拶及び講話

イ) 勝野ガバナーより、近年に於ける広報の重要性が強調された。この為本年はウェブを含む情報伝達をダイナミックに見直し、インフォメーションが内外に、迅速且つ十分伝えられるようあらゆる組織が努力することを、要請された。

ロ) 平原カウンセラーは、ロータリーが外部への広報を怠ってきた今迄の経緯を回顧し、活動した実績を謙虚に陰徳としてそのままどこにも知らせないで来たの

は、先人の教えもあったが、ロータリアン自らの消極性を自己弁護してきた一面もあったと、反省された。

広報と広告は本質的に異なり、我々は商品を売らんが為の広告をするのではないと説明し、広報への基本的理念を忘れないことも述べられた。

そして今後のロータリーにあっては、みんなで汗水流して実践した奉仕活動は、広報担当部門が中軸になって、出来るだけの手段を考え、熱意を込めて内外にお知らせすることが責務であると指摘された。

また自らは、本年クラブ奉仕担当アドバイザーとして、その先頭に立って思い切り新しい時代の広報を再構築していく心算であると、力強く宣言された。

## 2. 委員会報告

### イ) 雑誌広報委員会

川村委員長より、第1章「委員としての基礎知識」として、手続要覧に記載された広報関連事項を説明し、第2章「広報の方法」と題し、ロータリーで可能な広報手段を論述した。

この後第3章、第4章で本年度の活動を報告し、その支援・賛同をお願いした。

### 第3章 現在の広報にみる問題点

#### 1) 内部広報にみる問題点

イ) 共通の活字媒体が減少し、ウェブ利用者としめない者の情報格差が拡大  
ロ) この結果、理念・考え方・価値観がかつてより拡散してしまった。  
現状は、ロータリー全体の動きが体系的に捉えにくい時代を迎えている。

#### 2) 外部広報にみる問題点

イ) ロータリーの認知度は低いままである。  
ロ) その上ボランティアは花盛りで、ロータリーの奉仕は益々目立たない。  
このため、世間の認知度から遠ざかり、会員もアクトも減少を続けている。

### 第4章 今年やりたいこと

#### 1) 内部広報

イ) ホームページ 重要情報(Gメッセージ等)を迅速に選択出来るようIT委員会に「レイアウトの改訂」をお願いした。  
ロ) 1ページ紙面 重要情報を1ページに要約、全員に配れるサービスを行う。= ガバナーメッセージ、「友」委員長報告、  
ハ) クラブ投稿支援 「友」「地区HP」に一回以上投稿して頂くよう、クラブへの支援を進める。

#### 2) 外部広報

イ) RI広報補助金を活用して、外部広報を展開する。  
1万ドル(100万円)以内。地区側も資金拠出。12月審査決定。  
ロ) 活動計画

- (1) 記事掲載 産経新聞に毎週1回3ヶ月、12回掲載。
- (2) 放送 ラジオ放送(OBC)でインタビュー放送等
- (3) HP掲載 HP「産経関西」に記事掲載
- (4) 冊子作成 産経掲載記事を冊子に作成し全員配布。会員募集にも広く活用

八) 時期

- (1) 試行期間 2008年10月～11月
- (2) 本期間 " 12月～翌2月頃まで

二) 費用

総計	2,300,000円	
分担	(地区で集めて一括払い)	
(1) RI分担金		1,000,000円
(2) クラブ分担(1クラブ12,000円)		900,000
(3) 個人(冊子一冊70円)		250,000
(4) 地区補填		150,000

ロ) ロータリーの友委員報告

山口ロータリーの友委員より報告予定であったが、急用が生じたので川村雑誌広報委員長が代行説明した。

1. 「友」編集方針

「友」は漫然と見ると読みにくいが、編集意図を知っているとそれに沿って読めるのでとっつき易い部分が出来ると伝え、その編集方針を説明した。

方針 「豊かな友」を目指す基本方針は変わらない。

表紙 プロカメラマンの自然・環境との共生をテーマとした写真とする。

記事 「手に手」クラブ探訪＝好評なので、今年も継続。

「座談会」＝会員ナマの声。3回ほど新設予定。

「指定記事」＝率直に言って、RI指定記事は翻訳なので読みづらい。だがこれは、公式地域雑誌として必ず記載することを義務づけられている。読めばなかなか味のあるものもある。

2. ウェブ「ロータリージャパン」

公式日本のロータリーウェブサイトとなり、情報も広がったことを説明した。国際大会・協議会の当日情報も掲載。ロータリアン以外への広報へも使える。

「インターネット速報」＝毎週火曜日更新で送られてくるので利用されたい。

3. ロータリアン実勢調査

会員減少、世代間ギャップ、新会員への情報不足等の分析・解明のため、全国ロータリークラブ対象のアンケートが本年実施されることになり協力を依頼。

4. 購読義務と地域雑誌

手続要覧に、会員は有料にて購読義務のある事を確認し、併せて「友」は公式地域雑誌として世界30余の雑誌の中でも定評のあることを強調した。

## 八) IT委員会報告

最初大村委員長より委員会体制について説明し、この後大村委員長、寺下アドバイザー、大森委員、三名により分担して下記の通り説明を行った。

### 1) 委員会体制について

クラブ支援をより強くスムーズに進めるために「4つの取り組み」を軸に各担当が考え、推進する。

ホームページの企画	大村 汐崎
地区内データ管理、技術	寺下
IT研修	大森
雑誌広報との連携	中谷

進捗やアイデアは各担当が責任を持って進め、定期的な委員会内会議で進捗を報告、検討するというように組織づくりにも力を入れる。

### 2) 「決議 23-34」を考えるコラムのホームページへの新設

われわれロータリアンにとって非常におおきな意味を持つ根源的な問題「決議 23-34」の復活に取り組んでおられる中島パストガバナーはじめ様々な方に協力いただき、みなさんに「決議 23-34」について知ってもらい、この大事なものがうしなわれていいのか？否か？ということを考え、討議するためのコラムを地区ホームページに新設、運動を展開したいまた、ネットの特性を活かして、他地区への波及効果にも期待したい。

### 3) ホームページリニューアルのご案内

- 1) RI 会長、地区ガバナーメッセージの伝達強化、月信も大きなボタンで目立つように設置
- 2) 地区、クラブ、情報などを整理、ドアを開けて部屋に入る仕組み
- 3) 増強へのアプローチ
- 4) 使える情報を掲載
- 5) 情報アップロードへの取り組み

今後もホームページの完成へ向けてがんばります。ご意見などありましたら各担当に具申ください。また記事があってはじめてホームページのニュース機能を發揮できますのでよろしく願いいたします。

### 4) 地区内データ管理、クラブホームページの単年度管理、制作の御願い

地区内データ管理につきましては、ガバナー事務所に大容量のデータを保存出来るサーバーを設置いたしました。さらにバックアップ装置、オートスキャナーなど地区の大切な記録を電子データとして、保管するための設備を整えました。このため、過去データも含め、当地区の重要な事業記録、資料及び各クラブのロータリー情報を蓄積し、今後の情報資産として活用できるよ

う作業を開始しますのでご協力をお願いします。具体的には印刷物はPDF等のファイル化を同時にお願ひし、データをガバナー事務所に送ってください。

次にHP制作要点につきましては、各クラブのページも年度単位で更新し、バックナンバーを保存してください。また、地区ページの各クラブの紹介ページ、名簿データの提供等も従来どおりお願いします。各クラブが情報共有することで、効率化・合理化を図りたいと思います。

### 5) IT研修会のネット化のご案内

今年度は、各地域開催での教室形式の研修会は開催致しません。その代わりに地区HP内に「掲示板」を立てまして各クラブとの対応を行いたいと考えています。

各クラブ固有の問題に対応する事を目標に掲げております。従いまして、各クラブからのご意見やご質問を頂きたいと思ひます。

## 「3」質疑応答

委員会説明後、質疑応答が相次ぎ、活発にして熱気に溢れた話合いが制限時間一杯まで続けられた。詳細は省くが、つぎのような質疑がなされ、カウンセラーをはじめ委員長・委員共々の有意義な話合いとなった。

### 質問応答抜粋

1. 地区やRIのHP内容は、クラブ資料にそのまま転載・利用してよいか？  
(A) 地区役員のメッセージは活用を奨励されるだろうが、要約するとオリジナルの意味を損なうので、承諾が必要。  
写真や地区外情報は、承認なしでは著作権問題が出る。弁護士さんもおられるので、後刻報告
2. 「友」に投稿して、採択されるコツは何か？  
(A) 特效薬はないが、全員整列した記念写真風は絶対ボツになるので、汗を流して奉仕している姿を提出すること。  
近頃採択率は上がっているが、とにかく鉄砲は数多く撃つことが一番。
3. 広報というのは難しい。昔はあまり活発ではなく、陰徳が美德と言われたが？  
(A) 確かに美德とされた。しかし今は時代が変化した。一生懸命汗水流して奉仕活動しているのに、それを見逃して広報努力しないことこそ恥ずべきことではなかろうか。言い訳にもとられかねない。  
世間も、やったことは的確にお知らせして欲しいというか、一般的に情報公開する時代になって来ている。ロータリー内部も同じである。
4. 新聞に載せると広告料は高いと聞いた。これでやれるのか？  
(A) 広告で今回の計画を考えると、数百万円以上は必要であり、その意志は全くない。  
新聞社がロータリーを記事の標的にするだけのことである。ロータリ

一の奉仕活動の記事を、読者が関心をもって読んでくれる内容に新聞社が選択し記述するだけである。何を選択し、どう書くかは新聞社次第。新聞購読で協力するがこれは単なる購入である。  
ただ取材・ラジオ 放送・HP掲載等の経費100万円は提供する。

#### 「4」会合所感

イ) 村上ガバナーエレクトは、広報の重要性が大きく変化しつつあることを指摘した。その一例として、R Iが今回提案したC L Pの五つの常任委員会の一つが「広報」の機能であるとした。欧米と日本の考え方の差異はさて置き、欧米では広報を我々よりも一段と重視しているのかも知れない。我々は独自の考え方を取ってよいが、広報はロータリーの将来にとって、極めて重要であると強調された。そのため、従来はやや閑職とみられた広報・雑誌機能であるが、本年就任の皆様にはこれからのパイオニアとなって頑張ってもらいたいと激励された。またI Tは今後の必須技能であり、年齢に拘泥することなく情報集約の手段として活用することを要請された。

ロ) ガバナー補佐の4名の方「田中東亜男、岩本行弘、桐本貢、木久和則各G補佐」が、全体の代表として所感を述べられた。時間制約のため寸評であったが、経験豊富な方々であるだけに、いずれの方々も  
1) 広報は、内部・外部とも強化の必要性 2) I Tの基本技能の修得の必要性  
3) 今年度の諸計画への熱意・・・等について、熱っぽく陳述された。

#### 「5」ガバナー講評・点鐘

最後に、ガバナーより、本日の盛り沢山の議題を真剣に話し合い、有意義な会議を持ったことに謝意を述べ、更に本日の諸計画をクラブの皆さんとともに精力的に実践する決意であることを力強く宣言され、点鐘された。